



～ツキノワグマの出没にご注意ください！～ 令和5年度堅果類豊凶調査結果をお知らせします

県では、ツキノワグマ（以下「クマ」といいます。）の秋期の主な餌となる堅果（どんぐり）類の豊凶調査を実施しました。

今年度の堅果類の結実量は、昨年度より少ないものの、県内全体では一定程度の結実が見込まれます。このため、秋冬にかけての全県的なクマの大量出没の可能性は低いと考えられますが、予期しないクマとの遭遇には、引き続き十分ご注意ください。

豊凶調査の総評

県内全体では一定程度の結実（過去3年間と同程度）が見込まれます。詳細については別紙をご確認ください。

クマ出没への影響

令和5年 秋冬

【全県】全県的なクマの大量出没の可能性は低いと考えられます。

【北部】ブナ、ナラ類の不作が見込まれるため、餌を求めて里地への出没が増える可能性があります。集落周辺を含めてクマとの遭遇に十分注意する必要があります。

令和6年 春夏

【東信・南信】ナラ類の結実が例年並みと見られ、クマの栄養状態が向上するため、一定の出産があると見込まれます。特に今期の出没が多い地域では、冬眠から目覚めた子連れグマとの遭遇リスクが高まる可能性がありますので注意してください。

令和5年度 クマの目撃件数及び人身被害件数（8月末現在）

里地での目撃件数 891件（前年同時期558件）

人身被害件数（人数） 7件（8人）（前年同時期5件（5人））

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/documents/r05kuma.pdf>

県民の皆様へのお願い

- クマは広範囲を移動するため、県内の森林のどこにでも出没し、人と遭遇する可能性があります。
- 一番重要なことは「クマに出会わない」ことです。森林やその周辺で行動する時は、複数人で行動したり、クマ避け鈴やラジオ等の音を鳴らしながら行動するなど、人の存在を知らせることで、クマとの遭遇リスクを下げることができます。
- 朝夕の薄暗い時間帯や見通しの悪い藪がある場所では、不意の遭遇に注意してください。
- 人里での餌を覚えたクマは出没を繰り返します。カキやクリなど収穫しない果実や廃棄する農作物、生ゴミ、油脂類等は適切に処理して、人里にクマを誘引しないことが大切です。
- クマは背を向けて走って逃げるものを追いかける習性があります。万が一遭遇してしまったときは、クマから目を離さず、ゆっくりとその場を離れてください。

※長野県ウェブサイト「ツキノワグマによる人身被害を防ぐために」を御参照ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/sangyo/ringyo/choju/joho/onegai/jinshin.html>

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

担 当 林務部森林づくり推進課
鳥獣対策室 塚平、豊森
電 話 (代表) 026-232-0111 (内線) 3250
(直通) 026-235-7273
F A X 026-234-0330
電子メール choju@pref.nagano.lg.jp